



港区将来ビジョン ～「いちばん住みたいまち、住んで誇りに思えるまち 港区」をめざして～【概要版】

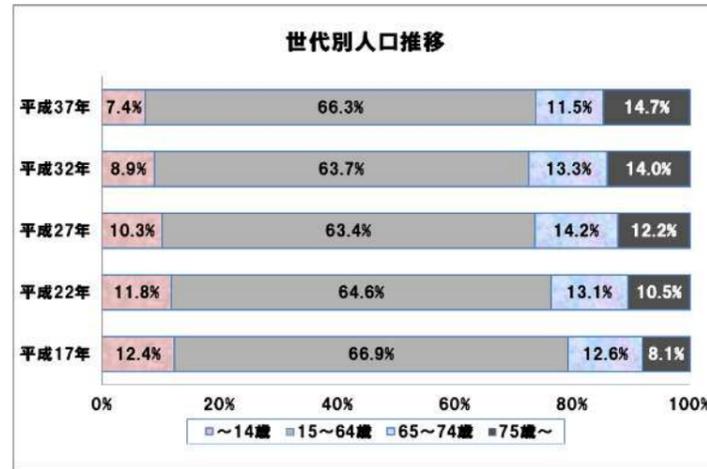
このビジョンは、港区がめざすべき5年後の姿（将来像）と、その実現に向けたまちづくりの方向性を明らかにしたものです。

港区の特性と課題

少子高齢化

港区の人口は平成22年時点で約8万5千人で、市内24区の中では16番目となっています。今後、人口の減少が見込まれています。

今後、少子高齢化が進むことが見込まれることから、元気な高齢者がいきいきと地域で活動し、介護や支援を必要とする高齢者が住みなれた地域で安心して暮らすことのできる環境づくりとともに、子育て世代の居住を促進し、バランスの取れた人口構成を確保していくことが求められます。

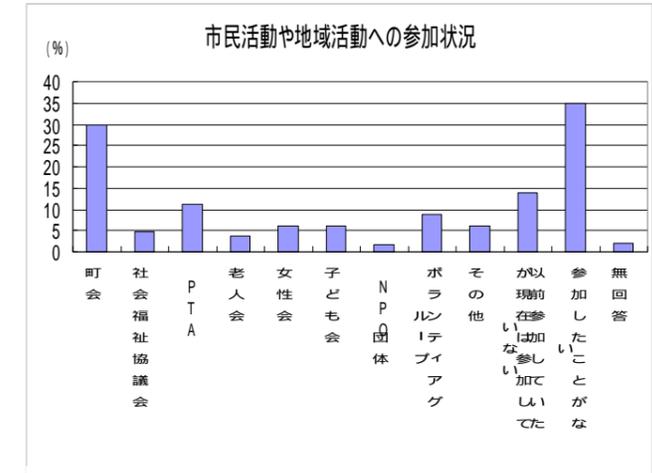


資料：平成17年、22年は総務省「国勢調査」、27年以降は大阪市政策企画室の推計数値

地域コミュニティ

港区は、住民どうしの絆や助け合いの気持ちが強く、地域活動が活発です。町会の加入率は24区ではトップクラスで、下町の人情味豊かな地域がたくさんあります。一人暮らしの高齢者や子どもを見守る活動などにも地域全体で熱心に取り組んでいます。

しかしながら近年、少子高齢化や核家族化が進むなか、地域活動の担い手が高齢化し、後継者不足が生じているほか、大型マンションの建設等で新たな住民が増加し、町会への加入を望まない人も増えるなど、コミュニティ意識の希薄化が懸念されています。

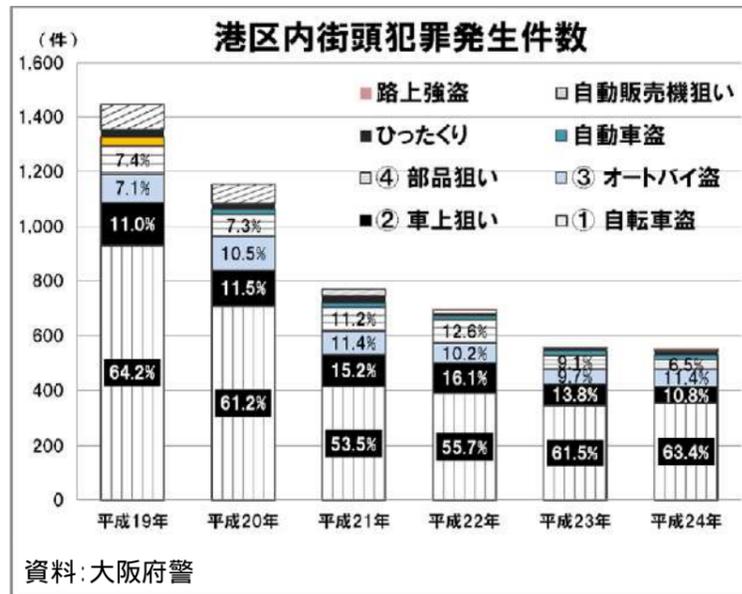


資料：平成22年度第3回区民モニターアンケート

まちの安全・安心

港区は三方を海と川に囲まれており、津波や高潮の被害を受けやすい地勢にあります。東日本大震災の教訓を踏まえ、津波を伴う海溝型地震への対策の強化を急ぐ必要があります。

また、港区は街区がわかりやすく平坦で、自転車があれば大変便利に生活できるまちです。一方で、自転車に関する事故が多く発生するとともに、区内の駅周辺を中心に放置自転車も数多く見られるため、自転車の適正利用を促進する必要があります。

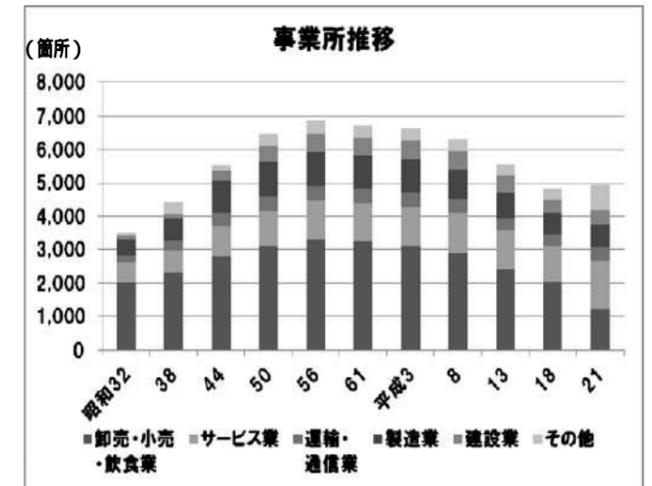


資料：大阪府警

まちのにぎわい

区内東部の弁天町は交通の結節点であり、文化、商業、娯楽機能が集積しています。中央部には八幡屋公園や大阪市中央体育館、大阪プールがあります。西部の築港地区は「海遊館」をはじめ、日本一低い山「天保山」、世界第一級のクルーズ客船が入港する天保山岸壁など、歴史・文化・観光資源に富んでいます。

区内には卸売・小売業の事業所や飲食店が多く立地していますが、その数は年々減少しています。地域の魅力ある資源を活かすなど、まちのにぎわいを生み出し、地域経済の活性化を図る必要があります。



資料：総務省「事業所統計調査」(S32～H3)、「事業所・企業統計調査」(H8～H18)、「経済センサス」(H21)

港区の将来像

歴史が育んだ、港区民のDNAともいえるつながりの強さや、築港が持つ潜在的な地域の魅力など、港区の「強み」を活かすとともに、三方を海と川に囲まれ、高潮や津波に弱いといった地理的な「弱み」を克服して、次の5つの柱により、今後のまちづくりを進め、「いちばん住みたいまち、住んで誇りに思えるまち 港区」をめざします。

【まちづくりの5つの柱】

- 1 区民主体のまちづくり
- 2 安全・安心・快適なまちづくり
- 3 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり
- 4 子育て世代が魅力を感じるまちづくり
- 5 訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり

区民主体のまちづくり

豊かなコミュニティづくりの促進

- ・人と人が出会いつながる機会の提供
- ・地域住民や企業等が地域活動に参加する機会や場の提供、マッチング など

区民主体のまちづくりの推進

- ・各小学校区での「地域活動協議会」の活動の促進
- ・「地域活動協議会」の社会的信用を高めるための取組み支援
- ・「地域活動協議会」の代表者や公募の区民等の参画による「区政会議」での区の施策・事業に対する意見・評価 など
- ・多様な協働の推進とコミュニティ・ビジネスの促進
- ・活動主体が交流する機会や場の提供、交流の継続への支援
- ・企業どうしの交流促進、特に防災面での地域との連携・協働による取組みの促進
- ・地域づくりやまちづくりのためのコーディネート人材の育成
- ・コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの促進、本市事務事業の社会的ビジネス化 など



「いちばん住みたいまち、住んで誇りに思える
まち 港区」の実現に向けた

まちづくりの 5つの柱



安全・安心・快適なまちづくり

防災対策の強化

- ・各小学校区での防災計画の策定、自主防災組織の形成支援・強化、要援護者名簿の作成促進
- ・津波発生時における一時避難施設の確保、マンション内での高層階への垂直避難の取組みの促進
- ・弁天町駅周辺の帰宅困難者対策 など

防犯対策の強化

- ・警察等と連携した、区民への防犯知識の普及・啓発
- ・犯罪発生情報の積極的な発信、犯罪発生実態を踏まえた青色防犯パトロールなどの活動
- ・犯罪行為の抑止を図る防犯カメラの設置 など
- ・歩行や移動の安全性等の確保
- ・放置自転車禁止区域での放置自転車の撤去や、短時間無料駐輪制度の導入など放置自転車対策の推進
- ・暫定的措置として、車椅子利用者が地下鉄弁天町駅ホームを利用して横断できるよう検討 など

健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

地域福祉の推進

- ・小学校区での地域福祉アクションプランの策定支援
- ・支援を必要とする人への、相談や見守り活動、緊急時の一時的な援助など、地域における支援ネットワークの拡充
- ・独居高齢者や高齢者世帯の買い物や身の回りのことを住民どうしてサポートできる仕組みづくり
- ・子どもの発達・発育が気掛かりな保護者への心理的サポートや保護者どうして相談や情報交換できる機会の提供 など

区民の健康増進と生活環境の改善

- ・区内の健康増進活動を行っている事業者や団体・グループなどとの連携・協働による、区民が主体的に生活習慣の改善や健康づくりに取り組む機会や場の提供
- ・がん検診や健康診査を受診しやすい環境の整備や積極的な広報 など

多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進

- ・人権意識の普及・高揚を図る、多様な学習機会の提供 など

子育て世代が魅力を感じるまちづくり

子育てしやすい環境の整備

- ・多様な保育サービスの充実
- ・地域で気軽に子育てについて相談できる体制整備、区内の多様な子育て関係情報の提供 など

子育て世代の居住促進

- ・子育て世代のニーズにあった良質な住宅の供給促進
- ・港区に住む魅力についての積極的な情報発信
- ・八幡屋公園の利活用の促進 など

子どもの学ぶ力、生きる力の育成

- ・学校との協働による、福祉的課題等をかかえる児童・生徒とその家庭への支援
- ・商店街や企業、地域団体との連携による、子どもたちの体験学習や職業体験、インターンシップの機会の充実
- ・ボランティア団体等との連携による絵本に親しむ機会の充実などによる子どもの読書活動の推進 など

訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり

地域経済の活性化

- ・経営基盤の強化を支援する情報の提供
- ・町工場などの操業環境を確保する取組みの支援
- ・区内の事業所どうしの交流を促進し、サービスや商品の付加価値を高めるネットワークの拡充
- ・地域と連携した商店街による取組み支援 など

築港地区のにぎわいづくり

- ・これまでの多様な活動主体による取組みをベースに、継続した活動のマネジメントを行い、イベントの収益等を活動資金として確保することができる仕組みづくり
- ・赤レンガ倉庫前広場でのイベントや夕陽の美しい中央突堤周辺の施設の有効活用等により、集客力と回遊性の向上、エリア全体の活性化 など

まちづくりに向けた資源・資産の活用

- ・市岡商業高校跡地等、弁天埠頭、弁天町駅前事業用地などの活用・活性化策についての検討